

発注事務所：長崎河川国道事務所
 工期：平成28年7月8日～平成29年3月31日
 施工場所：長崎県松浦市
 施工者：(株)上滝

〔工事概要〕

工事延長 L=360m

・掘削工	土砂	2,700m ³	・法面整形工	切土部	410m ²
・ "	軟岩	8,200m ³	・ "	切土部(軟岩)	2,130m ²
・路体盛土工	路体(築堤)盛土	12,180m ³	・ "	盛土部	2,160m ²
・路床盛土工	路床盛土	3,400m ³			

工事能率向上における工夫

- ・ICTバックホウに搭載されているステレオカメラの使用により正確な工事進捗の把握をした。
- ・ネットワークサービス(KomConnect)を利用し、現場の進捗を日々管理した。
- ・ICT活用において問題点及び課題を抽出し、問題解決に向けてメーカーと検討会を実施した。

品質向上に関する工夫

- ・ICT適用外であった軟岩掘削において、リッパ装置付ブルドーザの施工が狭隘箇所であった為、一本爪リッパ搭載ICTバックホウを使用することにより、精度の高い軟岩掘削が可能となった。
- ・ブレード操作を自動化したICTブルドーザを駆使し設計通りの層厚管理を実施した。
- ・30年以上の熟練技術者の経験とICTの最新技術を交えることで更なる効率アップを図った。



軟岩掘削



法面整形



ブルドーザによる層厚管理

その他創意工夫等

- ・社内現場見学会を開催し、40歳以下の若手技術者を中心にICT施工の効率化・安全性向上等の魅力を伝えた。
- ・自社で施工、管理が出来るよう3次元設計データ作成システムを導入し社内講習会を実施する事で3次元設計データの作成手法を取得した。
- ・行政(長崎県)が取組み推進を考えているICT活用において、担当技術者を派遣しICT技術の発展に協力した。
- ・ICT責任者に若手技術者を任命し、現場に常駐させることでICT技術を習得する事ができた。



社内現場見学会①



社内現場見学会②



社内講習会